時事新報

復職せしむ可し

渡邊前長官の處分の爲め一時有名なりし北海道炭礦鐵道の線路變換事件も過般井上鐵道廳長官が同地に出張して親しく實地を撿分の上、其不都合なきを認めて直に開業を許可するの運びと爲りたるは近來の決斷にして會社を始め同道人民の一般に喜ぶ所なる可し抑も前長官が同會社々長堀氏を免職せしめたるは其筋の許可を經ずして漫に線路を變換したりとの一事に外ならざれども前後の事情を考ふれば其處分に就て我輩の意を得ざるもの頗る少なからず思ふに堀氏は一會社の社長なりと雖も炭礦會社は尋常の諸會社と異にして政府の特典も厚き代りには社長の撰任は殊に鄭重を旨とし人物を精撰して官より命ずるの定めなれば其任免は決して容易に爲す可きものに非ず然るに堀氏が職を免ぜらるゝ時の有樣を見れば家族の不幸に遭ふて愁傷の最中深夜人を馳せて突然辭表を促し又その辭表をも待たずして免職を厳達したるが如き如何にも急卒にして尋常の事態に非ず殊に當時の新聞紙には會社の内情なりとて會計上に百何萬圓の不始末ある旨を記したるものあり其出處の如何は姑く擱き苟も會計の不始末とあれば等閑に付す可らず蓋し何れの會社と雖も其内部に立入り俗に云ふ楊子を以て重箱を探ぐるの流に觀察したらば多少の不整理は免れざるべきならん即ち今の諸會社に普通の例なれども炭礦會社に限りて此普通の例外に特に不始末の大なるものありと云へば社長の責は免る可らず啻に免職のみならず或は罪に償する程の次第なれども我輩の聞く所にては同會社に限りて斯る大不始末のある可き筈なきは申す迄もなく過般の帳簿撿査に於ても遂に不都合を見出すこと能はざりしと云ふ左れば免職の原因は線路變換の一事に外ならざる可しと雖も抑も線路の變換は免職の當時に於て急に發見したる事實に非ず聞く所に據れば是れより先き會社にては線路變換の爲めに土地買入れの必要を生じ道廳に出願して其許可を得たりと云へば假令ひ變換の手續は履まざりしも道廳に於て其事實を知らざるの理由はある可らず如何となれば會社が土地を買入るゝは開拓の爲めにも非ず植民の爲めにも非ずして線路の用に供するの事實は公然明白なればなり若しも會社監督の責任ある道廳にして然かも其管内に起りつゝある線路變換の如き目前の事實を知らずとあれば或は外國人が竊に入込みて土地の開拓又は鑛山の採掘等を企つることあるも之を知らずして等閑に過ぐるが如き奇談なしとも云ふ可らず我輩の不審に堪へざる所なり故に最初土地買入の出願あるに際し果して線路變換の事實を認めたらば會社に忠告して相當の手續を履ましむるなり然らざれば斷然これを差止むるなり何れにしても監督者の責任として盡す可きの手段はありたるに然るに事、茲に出でずして一方に於ては恰も不意に思ひ出したる如く急卒の間に免職を命じ一方に於てはますゝゝ會社不始末の風聞を高からしめたるのみならず社長の更迭匆々帳簿の撿査に着手したるなど事情を知らざる一般の世人をして彼此相混交して免職の原因を認むるに難からしめたるは決して穩當の處分とは云ふ可らず喩へば或る商家に於て何か不取締の風聞あるに際し突然傭人に解傭を命ぜられたるものありと云へば其原因の如何に拘はらず當人の名譽は非常に傷けられざるを得ず炭礦鐵道會社の社長は官撰の職にして其任免は容易にす可らざるものあるに時と場合とにも拘はらず急卒の間に免職せしめたるは唯その不才を責るに非ず明に有罪を表白したるものなれば當人の名譽は申す迄もなく政府の信用にも關係少なからず然るに其免職の原因を聞けば全く線路變換の一事にして社長の進退を決す可き程の事柄にも非ずと云ふ我輩の忿々感服せざる所なり蓋し當局者の意見に於ては免職の處分は政府の威信を維持するに止むを得ざるの處置なりと考ふるやも知る可らずと雖も抑も政府の威信なるものは如何なる場合に於ても泰然として動かず成規法文の外に自から守る所のものあるを示すに在り言行舉動一々法律に拘泥し動もすれば一片の成規に據り百事を處理せんとして變通の妙を知らざるは所謂有司の事にして大政府の威信を維持するの道に非ず否な、却て威信を傷くるものにこそあれば線路變換の一條も實際に不都合を認めずして堀社長の處置は唯その手續を忽にしたるのみとの事實明白と爲りたる今日に至りては政府も速に過去の非を改め堀氏を復職せしむるこそ適當の處分なる可し堀氏一身の爲めに非ず政府威信の爲めなれば或は北海道は從來薩人の利を專らにしたる場所にして年來の情實少なからず而して堀氏も亦薩の一人なれば云々の説もある可し我輩も其不都合を知らざるに非ず薩人食潰しの巣窟とまで酷評せられたる北海道のことなれば今日も尚は餘弊の存するものある可し之を掃除するは最も願はしきことにして固より世人と同感のみならず聊か所見もなきに非ざれば時に隨て論ず可しと雖も薩人の巣窟論と堀氏の進退論と自から別問題にして彼此混同す可らず唯我輩は人事の秩序政道の威信を重んじ氏の心事如何に拘らず之を促しても一度びは必ず此人の再任を祈るものなり

雜報

○皇太子殿下還御の期日　本月一日御出發にて神奈川縣下相州鎌倉へ行啓同所前田侯爵の別邸に御滯留中なる同殿下には御豫定の如く來る二十三日同所御發にて還御在らせらるゝ旨昨十八日仰出されたり右御發着割は左記の如しと

八月二十三日午前八時　御旅館御出門
同八時二十五分　鎌倉停車場御發汽車
同十時五分　新橋停車場御着
同十時十分　同所御發還御

○昨日の内閣　は伊藤首相初め一大臣も出頭せず又伊東書記官長にも不參なりしと

○現内閣と法典問題　民法商法と云ふ二法典の編纂は井上伯外務大臣たるの時に始まり今は成典として成立し居るも其箇條中我國の風俗習慣に戻りて倫理を亂し商風を破壞する不穩當の點ありとて此の數年間二法典に關する否難の聲、囂しく帝國議會は既に修正延期と可決せしも前内閣は別に思ふ所ありしにや遂に延期の勅令を發するに至らずして以て現内閣に至りしかば現内閣も追々此の問題に關する閣議を一定し何とか取極むることならんが前内閣には田中子と云ひ大木伯と云ひ榎本子と云ひ孰れも揃ひも揃ふて熱心の斷行論者ありしかば閣論大體の傾向も自然斷行に在りしと見え施行延期の勅令の發布なかりしも蓋し此邊の事情ありしに因るならん歟、然るに現内閣と改まりてより右の三氏は去て在らず閣員の面々を見渡すに延期論の傾きあるものか然らざるも延期に付き異論なき可否未定の人々にして斷行論者とては一人も見當らず即ち伊藤總理を始め井上、河野、陸奥の諸氏は延期論者にして其他の人々も固より反對にあらずと聞けり尤も延期と申しても全く法典其物は今日の實際に不必要なりと云ふ絶對的延期に非ずして唯々世上に批難多き不穩當の點を修正せんとする所謂事の輕重より割出したる比較的延期論なるのみ元來法典の施行と否とは條約改正の成否に關係淺からざるが故に法典問題を一定せんとせば之と同時に條約改正の一條も豫じめ然るべき畫策を講じ置くべき筈にして而して單に條約改正の一事に就てのみ論ずる時は一日も早く改正すべきは論を待たず唯だ其事の困難にして容易に着手すべからざるの事情あるが故に遺憾ながら延引又延引し居る譯柄なるを以て底意は素より改正の速成を望むに在れば現内閣は出來る丈けは法典修正の爲め條約改正の差支へとならぬ樣取計ふの意味もあるべしと云へど閣員大體の傾向は前述の如く法典延期論者の寄合と申して可ならん中には早や延期の閣議一決して近々發表すべしとまで説くものあれども果して其邊まで捗取りたるや否やは知る可らざるも兎に角現内閣が法典に關する意見の延期に在る一事は確かなりと云へり

○先づ地方議會の議を定むべし　德嶋、岡山、兵庫三縣水害の善後策に就き當局者の意見なりとて聞くが儘に政府は岐阜愛知二縣の震災に對するが如き緊急の處分をなさず徐に充分の調査をなし調査の結果は之を來る十一月の議會に提出すべしとの次第を一昨日の本紙上に記しおきしも尚は能く聞く處に據れば政府は三地方の水害を以て補助するに足らざる程のものなりとは云はず唯實際急施を要する工事の費用如何と云ふのみ左れば此程德嶋縣より内務大臣に差出せし補助の請願書も一と先づ差戻されたる譯なりといふ而して其筋の意向にては岐阜愛知二縣に對して曾て政府のなせし臨時支出の如き事は愼んで之を避くる其代りには先づ被害地方の市町村に於て實際當冬の帝國議會が補助費の事を議定し畢る迄待つこと能はざる程の緊急工事費のみを銘々に査定せしめ此の査定額に基きて縣知事は一の議案を作りて之を縣會に提出し縣會をして其中の幾分が果して地方税の負擔に堪へ、他の幾分が國庫の補助を仰がざるべからざるやを議定し、此の區分の議、定まりて後政府に出願し來たる時政府は尚は之を調査し果して緊急の工事と認むるものには夫々補助を與ふる精神なりと云へば縣會の議定を經ざる不充分の調査は政府の採用すべき限にあらずして兵庫縣は尚は五十餘萬圓の地方税を徴收し得べき餘裕あり五十萬圓の工事は一二箇月を以て竣工し得べきものにあらざれば十一月の議會を待つこと能はざる事もなからんかなれども德嶋縣に至ては地方税の徴收し得べきものは十數萬圓に止まれば之には是非とも一時凌ぎの工事費を給せざるべからず岡山縣も地方税の尚は徴收し得べきものは二十餘萬圓もあるべしといふ左れば急施工事の費用として第一に補助すべきものは德嶋縣なるべけれども臨時議會を召集するの必要素より之なしとなり

○擇喰主義行はれん　第三議會の無事に閉會を告げてより國民協會の起りし頃の形勢にては松方伯にして依然總理たらば第四議會の閣位は非民黨の纒り付くならんと思ひの外松方伯は斷然辭職して伊藤伯總理となりたれば其影響は啻に非民黨のみに止まらずして隨分民黨の方にも及ぶなるべしといふ左れば第四回の議會に於ける下院の多數は〔以下切れ〕
府案にても隨分兩手を〔切れ〕
代りには非常に反對〔切れ〕
るものは特に目指す〔切れ〕
事態果して斯くの如〔切れ〕
攻撃の鋒を受くる〔切れ〕
大臣の攻撃特に烈し〔切れ〕
るべきを以て第四議會〔切れ〕
出るならんかと云〔切れ〕
を擇り分けして囂々〔切れ〕
語ならんとなり

○自由黨と改進黨〔切れ〕
民黨と呼び初めたり〔切れ〕
黨の名に依て並稱され〔切れ〕
は民黨なる名稱の下に〔切れ〕
方遊説の時抔に際して〔切れ〕
の極、純粹なる無形〔切れ〕
人、黨せざるの傾な〔切れ〕
水害に就ても改進黨は〔切れ〕
集の要なしと説くが〔切れ〕
果として同じく民黨の〔切れ〕
進黨は其運動上特に〔切れ〕
ざるべしといふ

○大藏省の税務會議〔切れ〕
二日より各府縣の收税〔切れ〕
を會議室に宛て税務〔切れ〕
なるが本年は同省に〔切れ〕
大臣は日々出席して〔切れ〕
々訓示する處ある由〔切れ〕
右に付昨日迄に上京〔切れ〕
りなるが同日迄には〔切れ〕

○兒玉陸軍少將の歸〔切れ〕
少將は昨日午後三時〔切れ〕
せり右に付き陸軍將校〔切れ〕
たり少將は暫時休憩の〔切れ〕
たり

○兒玉小將ならん〔切れ〕
しが候補者として推〔切れ〕
の呼聲多かりしが近〔切れ〕
の推擧により愈々洋行〔切れ〕
の内任命あるべしとは〔切れ〕
にて東京へ達したる〔切れ〕

○品川子爵の一行〔切れ〕
愛知縣早川龍介、今〔切れ〕
三郎、高知縣片岡直〔切れ〕
大坂府栗谷品三、〔切れ〕
に會合して品川子〔切れ〕
本日午前七時品川〔切れ〕
海道廳長官、大村〔切れ〕
數百人參拜して甚〔切れ〕

○宮内大臣御料局長〔切れ〕
る如く土方宮内大臣〔切れ〕
仰付けられ愈々明二〔切れ〕
には二百萬町歩の御料〔切れ〕
定もありて曩に札幌〔切れ〕
所を置きて御料地に〔切れ〕
るも御料林の如きは〔切れ〕
中には其位置宜しき〔切れ〕